

ワイズカップ争奪 学童野球6年生選抜大会 NONOICHI

大会要綱・規定

野々市市学童野球連盟

1. 試合は、当該年度の公認野球規則及び全日本軟式野球連盟「少年野球(③学童部)に関する事項」及び、一部、野々市市学童野球連盟ローカル・ルールを適用し、試合球は公認J球とする。
2. 監督は1名、コーチは2名とし、いずれも成人者であること。また、ユニフォームを着用すること。
3. 選手登録申請に関し、小学校6年生であれば人数の制限は無い。但し、ベンチ入りの選手は1チーム25名までとし、ユニフォーム若しくはこれに類するものを着用とする。尚、着衣は揃っていないとよい。
4. ベンチ入りの成人者は監督・コーチを含め5名以内とする。但し、監督・コーチ以外はユニフォームを着用せず、所属チームの帽子を着用すること。
5. 監督・コーチ・選手の二重登録は認めない。
6. チームの責任は、引率者又は監督がその一切を負うものとし、大会中の傷害等についても、各チームの責任とする。尚、スポーツ安全保険等への加入は必須とする。
7. 打順表の提出は、第1試合においては試合開始予定時刻の30分前、第2試合以後は当該試合予定時刻の30分前に監督と主将が大会本部に提出し、原簿と照合ののち、球審若しくは大会本部が認める審判員立会いの上、攻守をトスで決定する。尚、打順表は5部提出すること。打順表は、大会本部1、アナウンス1、球審1、相手チーム1、自チーム1とする。
8. 試合は6回戦とし、時間は1時間30分とする。この時間を過ぎて次のイニングには入らない。同時間を経過した時点で規定回に到達していない場合、均等回終了をもってゲームが成立したものとする。尚、試合の中断について、大会本部が認める場合は試合時間に含まないことがある。
9. 予選リーグの順位等は、次のように取り決める。
 - 勝者は勝ち点3、引き分けは勝ち点1とする。
 - 勝ち点が同点の場合は、直接対決で勝利したチームを優先とし、それでも引き分けの場合は、次のとおりとする。
 - ① 総失点数の少ない方を優位とする。
 - ② 総失点数が同じ場合は、総得点数の多い方を優位とする。
 - ③ それでも同じ場合は、大会本部が指定する方法での抽選とする。
10. 決勝トーナメントにおいて、6回終了若しくは制限時間を過ぎても同点の場合は、大会本部が指定する方法での抽選とする。
11. 点差によるコールドゲームは適用しない。
12. ベンチは、抽選番号の数字が小さい方を1塁側とする。
13. 試合中における抗議権や選手交代は、監督又は当事者に限り認める。

14. 打者・次打者・走者及びランナーコーチは、ヘルメットの着用を必須とする。また、捕手は控えの選手も含め、ヘルメット・マスク・プロテクター・股間用保護具（ファウルカップ）及びレガースの着用を必須とする。
15. グラウンド整備や試合の進行に際しては、大会本部のみならず、参加各チームの関係者も含め、スムーズな運営に協力すること。
16. 各試合の球審は、大会本部が指名する審判員が務め、1・2・3塁審は当該試合チーム以外の関係者から選出するものとし、大会本部にて各試合に割り当てるものとする。尚、担当塁に関しては当該審判員間で協議し決めること。また、各塁審は自チーム所属であることが視認できる帽子を着用すること。
17. 各試合のボールボーイは、当該試合の両チーム関係者より各1名選出とし、自チーム所属であることが視認できる帽子を着用すること。
18. BSO及びスコアボードの操作は、大会本部にて行うものとする。
19. 各試合のアナウンス担当は、当該試合の両チームから2名以内とする。尚、アナウンス担当者は自チーム所属であることが視認できる帽子や衣類を着用すること。
20. 野球用具は、全日本軟式野球連盟が公認したものであること。
21. 選手登録表提出後は、全ての試合において選手の変更及び背番号の変更は認めない。但し、特別な事情がある場合は、大会本部に申し出ること。変更を認める場合もある。
22. 試合前のシートノックは行わない。
23. 投手の投球制限については、1投手につき一日70球以内とする。尚、試合中に70球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球可能とする。一日2試合以上ある場合は、各試合の投球数を合計して70球までの投球を認める。
24. 守備側チーム監督からの故意四球（申告敬遠）を認める。
25. 指名打者ルールを適用する。
26. 試合中における他の事項については、審判員の指導に基づき、試合を遂行する。
27. 審判員への判定に対する抗議は認めない。但し、ルールの適用についての確認は認める。
28. 審判員への給水については、大会本部より原則、各試合の2回裏・4回裏後に行うものとする。
29. ベンチ及び応援席の整理整頓は、当該チームが責任をもって行うこと。尚、野球場施設内の清掃は、各日最終ゲームの勝利チーム関係者が行うものとする。
30. スタンド等観戦や応援では、節度ある応援とすること。また、鳴り物を使用しての応援は一切認めない。
31. 大会本部が取得した各種個人情報については、個人情報保護の観点から、適正に取扱うものとする。また、取得した個人情報については、大会の参加資格審査・大会運営上必要なプログラム編成及び作成・大会時のアナウンス・大会結果掲載に関わること（表彰・掲示板・ホームページ・ソーシャ

ルネットワーキングサービス・大会記録集・報道関係への提供等)、その他大会運営及び大会開催に必要な連絡等にのみ使用する。

32. 大会結果(記録)については、本要綱第31項で定めた個人情報と共に、主催者及び主管団体を通じた公開、大会関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載、次回以降の大会プログラムへの掲載等で公表することがある。
33. 大会関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真、映像が新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ、インターネットによって配信されることがある。
34. 大会参加申し込みをした時点で、上記取扱いに関する承諾を得たものとして対応する。また、各種大会運営関係者(役員・理事・委員・審判員等)については、上記取扱いに関する承諾を得たものとして対応する。